

特集 平成29年度 生駒市の予算

平成29年度の予算が決まりました。一般会計の総額は368億1,400万円で、前年度から17億5,200万円(4.5%)減りました。財源をどのように使うのかをお知らせします。

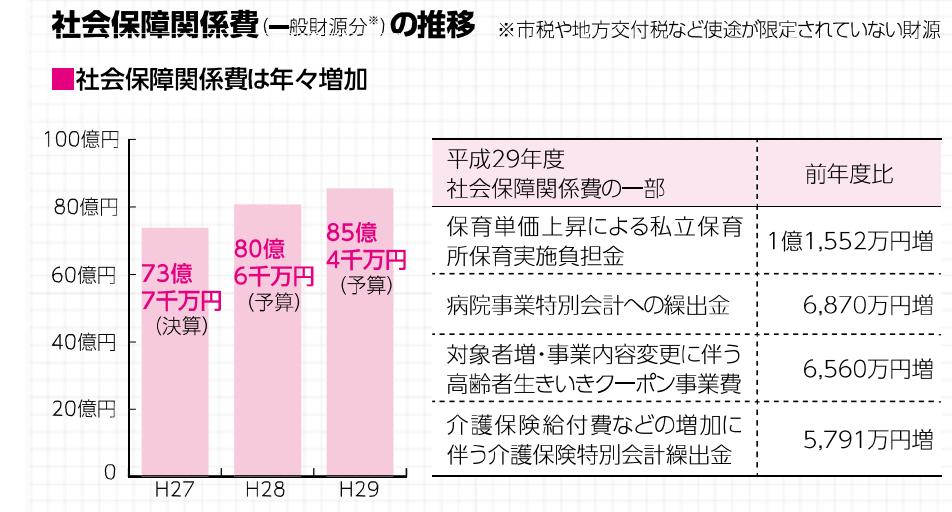
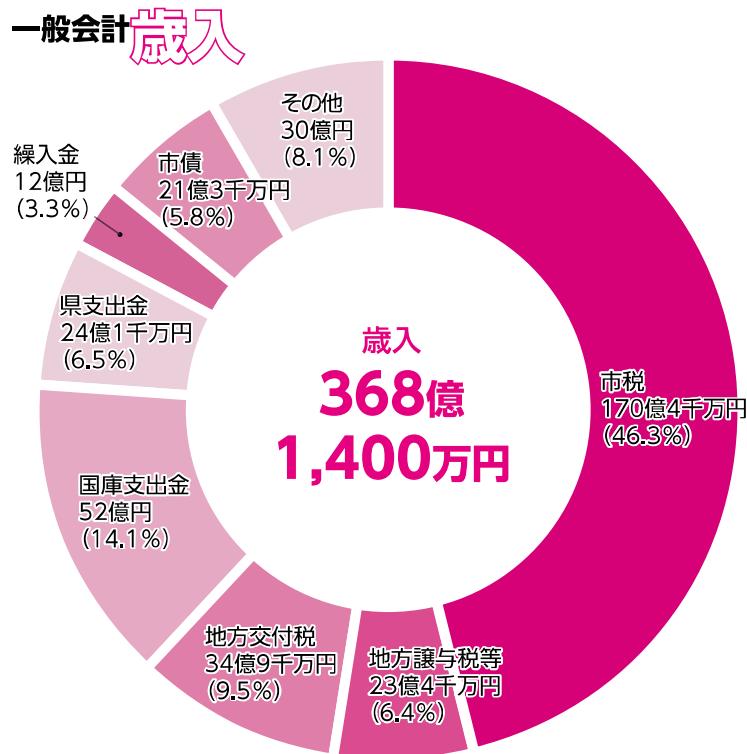
問財政課(☎ 0743・1111、内線274)

教育や福祉などを充実した予算

生駒北小中一貫校の整備や市役所庁舎の耐震改修などの大きな事業があつた昨年度と比べ、本年度の予算規模は17・5億円減少しました。同事業の財源であつた市債も大きく減っています。

市税収入は前年度並み

歳入は、固定資産税・都市計画税が増加。法人市民税が減るた



生駒市全体としては前年度と比べ微増と見込んでいます。
地方消費税交付金などの県税交付金は減少し、税収全体としては1・8億円(-0・9%)減少の見込み。繰入金は、子育てや教育、保育施設などの整備へ充当を含め、各基金から0・9億円増額の12億円の繰入を計上しています。

介護・医療費などが増加

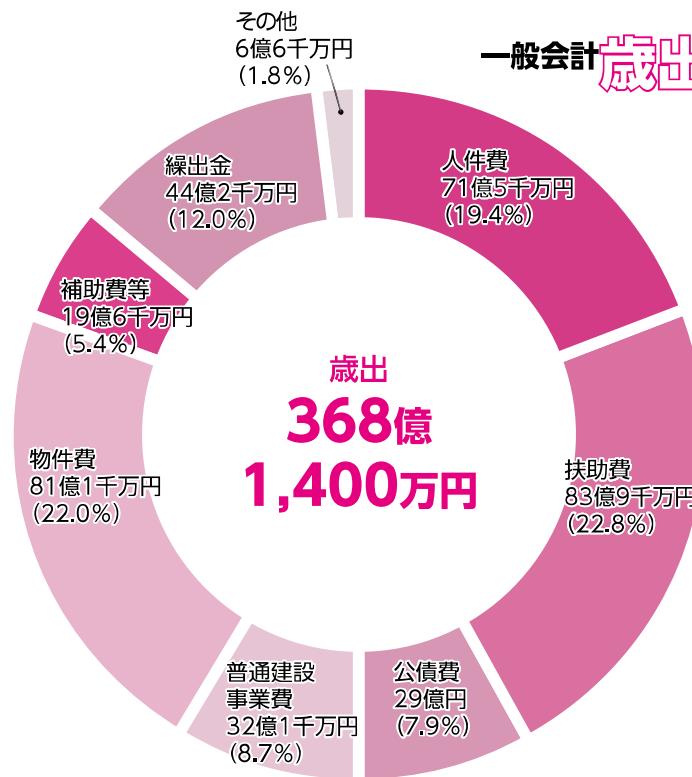
歳出は昨年度に比べ、普通建設事業費が22・3億円減少しました。

一方、社会保障関係費は高齢者の増加などにより、介護・医療費が増加。また、障がい福祉費の充実による給付費や制度などの改正に伴う子育て関係費などの増加により、一般財源ベースで4・8億円増加します。

市債の発行は限定的に実施

公債費は、総利払い額を少なくするため、償還年限を短くしていることの影響から、1・4億円の増加です。また、新たな市債の発行は、国から償還の財源措置が受けられるものだけを借り入れし、引き続き効率的な財政運営を努めます。

平成29年度当初予算	
※()内は前年度比	
▶一般会計	368億1,400万円(4.5%減)
▶特別会計	266億3,636万円(3.5%増)
▶企業会計	52億5,850万円(0.8%増)
▶総額	687億 886万円(1.2%減)



企業会計		予算額
企業会計		
水道事業	収益的収入	29億6,868万円
	収益的支出	27億5,648万円
病院事業	資本的収入	1億2,933万円
	資本的支出	10億497万円
特別会計		
特別会計		予算額
特別会計		前年度比
公共施設整備基金	6,186万円	8,146万円減
介護保険	82億4,937万円	2億7,357万円増
国民健康保険	137億1,826万円	8億4,572万円増
後期高齢者医療	17億2,276万円	1億198万円増
下水道事業	28億7,822万円	1億5,787万円減
自動車駐車場事業	589万円	7,427万円減





認定こども園の整備

予算額 4億7,096万4千円

高山幼稚園と北倭保育園を統合し、生駒北小学校跡地に(仮称)高山認定こども園を平成30年4月に開園。(社福)北倭保育園が行う園舎などの施設整備に補助します。

また、待機児童の解消や、保護者が就労時間にとらわれず継続した保育を確保できるよう、宝山寺福祉事業団が運営するいこまこども園の施設老朽化改修に補助。

その他、登美ヶ丘駅前ピュア保育園とソフィア東生駒保育園(分園含む)も幼保連携型認定こども園として開園しています。

■(仮称)高山認定こども園

▶開園 平成30年4月

▶種類 幼保連携型認定こども園

▶予算 4億4,555万円

■いこまこども園

▶開園 平成29年4月1日

▶種類 幼保連携型認定こども園

▶予算 2,012万2千円

■生駒幼稚園

▶開園 平成29年4月1日

▶種類 幼稚園型認定こども園

▶予算 529万2千円

□こども課(内線777)



子育て



一般不妊治療費・不育症治療費を助成

予算額 457万5千円

タイミング療法や人工授精、薬物療法、男性不妊検査など一般不妊治療の検査・治療費を助成する制度を創設。詳しくは、広報いこまち5月合併号でお知らせします。また、妊娠してもその継続が困難な不育症の検査・治療費を助成する制度を引き続き実施。安心して子どもを産める環境づくりを目指します。

□健康課(☎0743-75-2255)

幼稚園・保育所・小学校トイレ洋式化改修

予算額 2,584万円

衛生的で利用しやすいトイレ環境を確保するため、公立幼稚園・保育所、小学校のトイレを順次洋式化しています。今年度は繰越事業も含め、6つの小学校、幼稚園・保育所で改修工事などを実施。平成30年度には全ての幼稚園・保育所の、平成32年度には全小中学校のトイレの洋式化を完了する予定です。

□教育総務課(内線623)、こども課(内線776)



小学1年生から英語教育を実施

予算額 1,291万3千円

英語の基礎的な力やコミュニケーション能力を育成するため、小学1年生から英語教育を実施しています。今年度はALT(外国語指導助手)に学校との連絡対応や授業内容の指導などをするALTコーディネーターと、英語教育の内容チェックや副読本の作成などをする英語教育推進委員会を新たに設置します。

□教育指導課(内線635)



生駒北学校給食センター整備運営事業

予算額 6,456万8千円

学校給食センターの老朽化が進む中、衛生的な給食を全小学校に提供するため、設計・建設から運営・維持管理まで一体的に民間事業者に委ねるPFI方式で、(仮称)生駒北学校給食センターを旧生駒北小学校跡地に整備。今年度は進入路などの整備を行うとともに、整備運営する事業者を決定し、施設の設計に着手します。

□学校給食センター(☎0743-73-3141)



テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」の運営

予算額 866万3千円

生駒での多様な働き方を応援する施設、生駒市テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」。起業家向けの講座の開催や、大学との連携などをし、ワーク・ライフ・バランスを整え、新たな雇用創出や出生数の向上につなげます。

問 経済振興課(内線327)



高山竹林園に指定管理者制度を導入

予算額 2,865万9千円

50種類の竹・笹の生態園や茶筌・竹製品の展示資料館、茶室などがある高山竹林園。7月から同園の管理・運営を包括的に委託する指定管理制度に移行します。地域資源を生かして、観光振興の他、「茶」を切り口とした、にぎわいやイベント作りなどに取り組みます。

問 高山竹林園(☎0743-79-3344)



生涯学習



(仮称)愛にあふれる市民おすすめ映画上映会の開催

予算額 100万円

市民の皆さんの企画提案・運営による「(仮称)愛にあふれる市民おすすめ映画上映会」を開催。映画について思いを語り合う意見交換会などを通じて、青少年や子育て層、シニア層など幅広い世代の交流や、地域コミュニティの醸成、絆を育むことなどを目指します。

問 生涯学習課(内線649)



IKOMAサマーセミナーの開催

予算額 50万円

地域で活動するボランティア・NPOや、さまざまな特技や専門分野の知識を持った市民の皆さんのが先生となり、楽しい学びのプログラムを提供する街の学校「IKOMAサマーセミナー」を7月30日(日)に開催。子どもから大人まで、自分が学びたいことを気軽に学べる機会を作ります。

問 生涯学習課(内線647)



地域エネルギー会社の設立
予算額 765万円

電力の地産地消、地域の活性化を目的として、電力小売り事業を行う地域エネルギー会社を設立します。市内の太陽光発電や小水力発電などの再生可能エネルギー由来の電力を優先して調達し、公共施設、市内の一般家庭や事業者などに販売。事業収益は地域の課題解決や市民生活の質を更に向上させるサービスに活用します。

問 環境モデル都市推進課(内線375)

環境



LED公園灯等導入事業

予算額 7,093万7千円

市内の公園や緑道、緑地、広場などにある水銀灯などを、全てLED照明に更新する「LED公園灯等導入事業」を実施します。今年度は市内約220か所の公園などの電灯をLEDに更新。電灯が点かない状況を減らし、より安心・安全な公園を目指します。また公園・緑化に係る維持管理コストの削減や省エネを推進します。

問 みどり公園課(内線587)



歩きたばこ及び路上喫煙の防止に関する条例施行に伴う啓発活動

予算額 66万5千円

市内全域で歩きたばこを禁止する条例を10月に施行するため、その啓発を実施します。また条例施行後1年をめどに駅や学校周辺など人通りの多い場所などは、路上喫煙(立ち止まっての喫煙)も禁止し、違反者に過料2万円を科す「禁止区域」を新たに設置する予定です。

問 環境保全課(内線374)

その他の主な予算

(仮称)子ども・若者総合相談窓口の設置 予算額 633万6千円

教育・福祉・就労・子育て・更生保護などに関する機関が連携し、不登校やニート、ひきこもりなど、さまざまな課題を抱える子どもや若者を支援する「子ども・若者支援ネットワーク」。このネットワークの拠点となる「(仮称)子ども・若者総合相談窓口」を新設し、より充実した支援を目指します。

□生涯学習課(内線647)

おちやせんでチャレンジ商品の販売支援 予算額 334万6千円

県内で創業比率が高い本市。市内での創業の気運をさらに高めるため、創業を志す市民が販売を検討している商品を「チャレンジ商品」として販売できる環境を整え、マーケティング調査支援や商品販売での財政支援、相談支援を行う「チャレンジ商品販売支援事業」を、市アンテナショップおちやせんで行います。

□経済振興課(内線327)

■「市民が主役となってつくる 参画と協働のまち」への取組

- ・生駒市ウェルカムガイドの作成…196万円
- ・人権文化センター事業の拡充…146万5千円

■「子育てがしやすくられが 成長できるまち」への取組

- ・大規模学童分割工事…2億5,572万円
- ・小学生茶道体験事業の実施…84万5千円
- ・図書館エレベーター改修工事…1,428万9千円

■「環境にやさしく、自然と都市機能が 調和した、すみやすいまち」への取組

- ・空き家対策事業…2,204万2千円
- ・スズメバチ駆除費補助…100万円

要保護児童対策地域協議会の機能強化

予算額 48万円

児童虐待の未然防止などを協議する「要保護児童対策協議会(要対協)」。今年度は、複雑多様化する児童虐待への支援を強化し、困難なケースへの対応や相談員への研修などをを行う「スーパーバイザー」を配置し、要対協の機能を強化します。

□こどもサポートセンター
(☎0743-73-1005)

市民自治協議会の運営を支援

予算額 342万2千円

おおむね小学校区内にある自治会やNPOなど多様な主体が集まり、自主的に活動を行う組織「市民自治協議会」や、その設立準備会に対して、補助金の交付などを行い活動を支援。

また、まちづくりの将来ビジョンや活動計画などの検討の支援も必要に応じて行います。

□市民活動推進課(内線234)

■「いつでも安全、いつまでも安心して 暮らせるまち」への取組

- ・消防緊急車両の更新…2億2,328万2千円
- ・地域生活支援事業(重度障がい者入院時コミュニケーション支援事業など)…1億4,815万4千円
- ・公共施設のトイレ洋式化改修…8,304万円

■「地域の資源と知恵を活かし

- #### にぎわいと活力のあるまち」への取組
- ・企業誘致関連道路事業…1億8,090万7千円

▶詳しい予算は、市ホームページをご覧ください。



新規事業や主な事業

福
祉



認知症施策の強化

予算額 4,805万3千円

認知症や介護の専門知識を持ち、医療機関や介護サービスなどの支援機関につなぐコーディネーター「認知症地域支援推進員」。現在、市内に一人配置していますが、今年度から6人に増員します。また、認知症かどうか一人で検査できる認知症簡易判定スクリーニング機器を導入するなど、認知症施策をさらに強化します。

□地域包括ケア推進課(内線467)

高齢者・障がい者など生きいきクーポン事業

予算額 3億1,165万円

高齢者や障がい者などの生活行動範囲の拡大や、社会参加の促進、健康維持・増進などを目指し、生きいきカード(交通費助成制度)を、状態に応じて活用できる「生きいきクーポン券」として交付します。交付方法など詳しくは広報いこまちでお知らせします。

□70歳以上の人…高齢施策課(内線767)
70歳未満で障がいのある人…障がい福祉課(内線793)